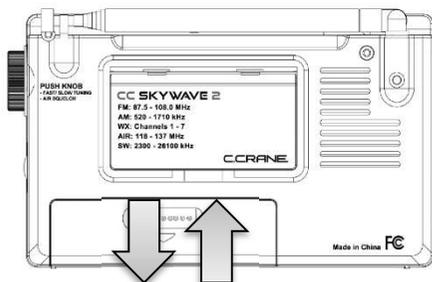


CC SKYWAVE2 操作ガイド

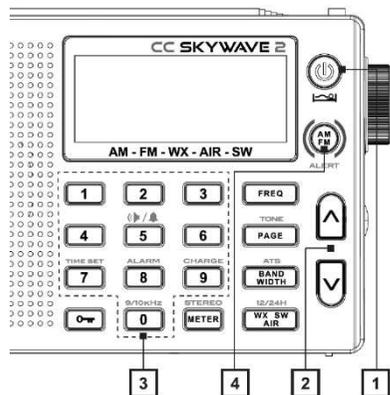
ApexRadio, Inc.

■ 電池の入れ方



背面のバッテリーカバーは下側に押し下げると外れます。単3形アルカリ乾電池2本を＋に注意して入れて、バッテリーカバーを装着します。長期使わないときは電池を外しておきましょう。

■ 電源とスリープタイマー ①



電源をオン・オフするには電源ボタン①を短く押します。スリープタイマーは、電源オフの状態でも電源ボタン①を長押しすることで起動します。長押しし続けるとタイマー時間 (120, 90, 60, 45, 30, 15, OFF) が順に表示されます。設定したいタイマー時間の時に①ボタンをはなすとスリープタイマーが設定されて電源オンになります。設定した時間が経過すると電源オフとなります。

■ UP / DOWN チューニングボタン ②

チューニングボタンを短く押すと周波数が1ステップずつ変わります。上向きボタンなら周波数が高く、下向きボタンなら低くなります。チューニングボタンを長押し (2秒程度) するとサーチが開始され信号を検知すると (サーチが停止して) 受信します。さらにチューニングボタンを押し続けている間は、選択されている受信バンド内でループするように受信周波数を続けて変更できます。

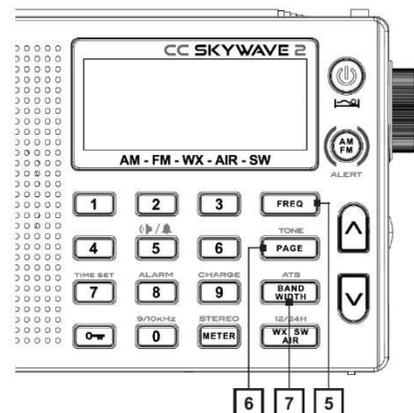
■メモリープリセットボタン ③ (数値ボタン)

[1] ~ [0] のメモリープリセットボタンを使ってバンド内の受信している周波数を割り当てられたメモリーに書き込むことができます。受信中に書き込みたいメモリープリセットボタンを長押しするとボタンに割り当てられたメモリーに書き込まれます。メモリープリセットボタンを短押しすることで、書き込まれたメモリーを呼び出して受信します。

■ AM FM ボタン ④

AM FM ボタンを短押しすることで、AM 放送、FM 放送の受信バンドを交互に切替えられます。SW や AIR の受信バンドから AM FM に戻る際にも、このボタンを使います。なお、AM FM ボタンを長押しすると NOAA (米国海洋気象) ウェザーアラート受信機能が起動 (ALERT 表示とバックライト点滅) しますが、電池の消耗を防ぐ意味から NOAA ウェザーアラートの対応地域外ではオフしておくことをお勧めします。

■ FREQ ボタン ⑤



選択している受信バンドで、希望する受信周波数を数値ボタンで直接入力ができます。例えば、

810kHzを入力するには、[FREQ]、[8]、[1]、[0]と入力します。なお、SW バンドのうち、2300kHz~2610kHz (2.610MHz) までの間は、数値の後に再度[FREQ]を押して入力を確定します。

■ PAGE TONE ボタン ⑥

AM / FM / SW / AIR のそれぞれの受信バンドに10ページずつ (1~0) 設けられたメモリーページに切替えるには、このボタンを短押しした後、希望するページ番号を数値ボタン (③) で指定します。

受信中にこのボタン⑥を長押しすることで、受信音のトーン切替え (MUSIC / VOICE) を行うことができます。音楽を楽しむには MUSIC、アナウンスなどには VOICE など、受信状況に応じてオーディオフィルターの設定を変えることができます。

■ BAND WIDTH ATS ボタン ⑦

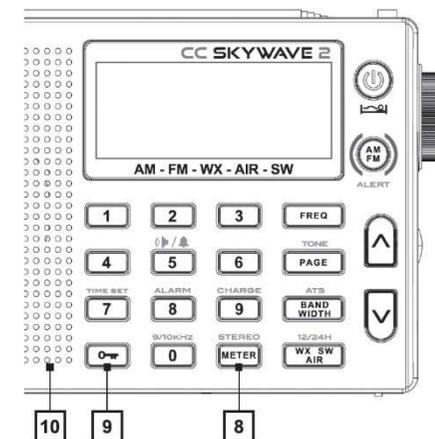
AM、SW、AIR のフィルター通過幅の切替えボタンです。受信信号の近傍にあるノイズや目的外信号を通過帯域から外すことでより良い受信結果を得られることがあります。このボタンを短押しすることで、通過帯域幅は、6、4、3、2、1kHz から順次選択ができ、選択した通過帯域幅は LCD に一時的に表示されます。(AIR の際は 6、4、3kHz)

受信信号が十分に強いとき (特に音楽など) は 6kHz がベストであることが多く、信号が弱い場合や目的外信号が近傍にある場合には、状況に応じて良好な受信状況になるように狭い通過帯域を選択することが可能です。受信状況によってノイズなどと受信信号のバランスをとって活用できる機能です。

ATS (Automatic Tuning System) 機能

AM、FM、SW、AIR の各受信バンドで独立して作動する機能です。希望するバンドを受信中に、このボタン⑦を長押しすることで起動し、自動的にスキッピングを行います。受信可能となった周波数を自動的にメモリーに (昇順に) 登録します。メモリーは1ページ10チャンネルまでです。バンド内に10以上の受信可能となる周波数がある場合にはページを切替えてさらに登録を続けます。 ※バンド内のノイズでスキャン停止する場合も、受信可能と判断することがあります。

■ METER STEREO ボタン ⑧



SW 受信のとき、このボタンを押すとメーター表示で放送周波数帯を順次切替えられます。

FM 受信のとき、このボタンを押すとステレオ受信対応とモノラル受信が切り替わります。ステレオ信号が受信されているときには、Stereo アイコンが LCD 表示されます。

■ LOCK(ロック)ボタン ⑨

このボタンを2秒間長押しすることで、他のボタンやダイヤル操作を無効にするロック機能が有効となり、LCD にキー (鍵) マークが表示されます。ロック機能を解除するには再度このボタンを2秒間長押しします。

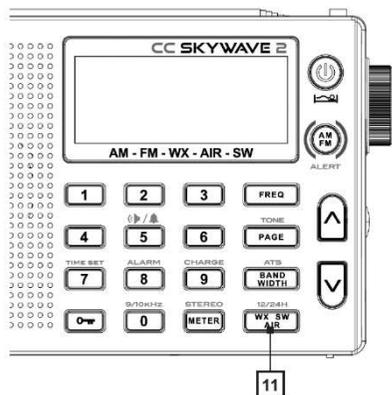
■ 内蔵スピーカー ⑩

スピーカーユニットが搭載されています。ヘッドホンジャックにヘッドホンやイヤホンが接続された際には、内蔵スピーカーはオフとなります。

■ WX SW AIR 12/24H ボタン ⑪ (裏面図)

電源オンの状態でこのボタン⑪を押す毎に、受信モードが SW→AIR→WX→SW と循環して切り替わります。

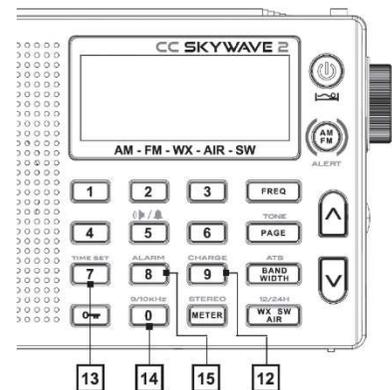
電源オフ時に、このボタン⑪を2秒長押しすることで、時計が12時間表示、24時間表示と交互に切り替わります。



■ CHARGE ボタン ⑫

ACアダプタ（付属していません）を接続した際には、CC SKYWAVE でニッケル水素電池（Ni-MH）を充電できる機能が備わっています。ニッケル水素電池を挿入してACアダプタを接続、CHARGE ボタン⑫を2秒長押しするとバッテリーインジケータが点滅し充電を開始します。

【ご注意】 アルカリ乾電池やマンガン乾電池は、絶対に充電しないでください。事故や故障、発熱、電池の液漏れ等の原因となります。



■ TIME SET ボタン ⑬

時刻設定するには、電源オフ時にこのボタン⑬を2秒長押しします。「時」が点滅表示されるので、ボタン②またはダイヤルを使って時間を設定、再度⑬を押して「分」を設定します。最後に⑬を押して時刻設定を確定します。

■ 9 / 10kHz モード切替ボタン ⑭

AM受信の9kHzモード、10kHzモードの交互切替えられます。切り替えるには、電源オフの状態で、[0] ボタンを2秒間長押しします。切り替えると、LCDに9kHz（または10kHz）が表示されます。9kHzモードになるとFM受信バンドの受信周波数の範囲が76～108MHzに拡張されます。

日本国内で使うには、9kHzモードを選択することをお勧めします。

■ ALARM ボタン ⑮

アラームの設定は、電源オフ時にこのボタンを2秒長押しします。チューニングボタン②またはダイヤルを使ってアラーム時間を設定、⑮を短押しすると「分」を設定し、再度⑮を押すことで設定時刻を確定します。アラーム設定されるとALARM表示がLCDに現れます。アラーム設定を解除するには、この⑮を3秒長押しします。

アラーム時刻になるとピープ音（初期設定）で知らせます。ピープ音の代わりに受信を選択する場合には、アラーム設定中に [5]（スピーカーマーク）ボタンを押すことでアラーム受信（スタンバイ受信）になります。再度[5]ボタンを押すことでピープ音と交互に切り替わります。アラーム受信が設定されるとLCDにはスピーカーマークが表示されます。

アラーム受信をする場合には、予め希望する受信周波数、受信音量などを適切に設定しておいてください。アラームを停止するときは、電源ボタン①を押します。他のボタンを押すとさらに10分後に再度、ピープ音（またはアラーム受信）が鳴ります。

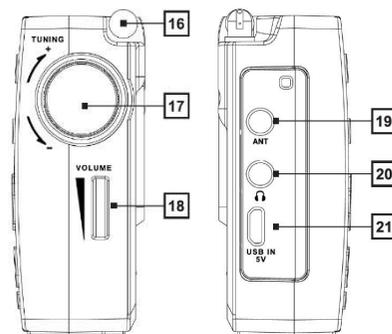
■ FM WX AIR SW アンテナ ⑯

伸縮式アンテナは垂直に伸ばしきって使うことをおすすめします。ご使用環境に応じて調節してください。

■ チューニングダイヤル ⑰

受信周波数を変更するときに使います。ダイヤルを押し込むとチューニングステップがFASTとSLOWの間で交互に切り替わります。

受信バンドがAIRのとき、ダイヤルを2秒間押し込むとスケルチモードに切り替わり、そのままOFF～9まで10段階のスケルチ設定ができます。もう一度押し込むとスケルチ設定は保持されて受信されます。スケルチによって受信音がミュートされているときは、SQUELCH表示が現れます。



■ ボリューム調節 ⑱

⑱を上に戻すと音量が大きく、下に回ると小さくなります。特にイヤホンやヘッドホンを使われる際には、音量調節にご注意ください。

■ 外部アンテナジャック ⑲

3.5mm モノラルジャック型の外部アンテナ端子です。短波帯以上のバンドで有効です。

■ イヤホンジャック ⑳

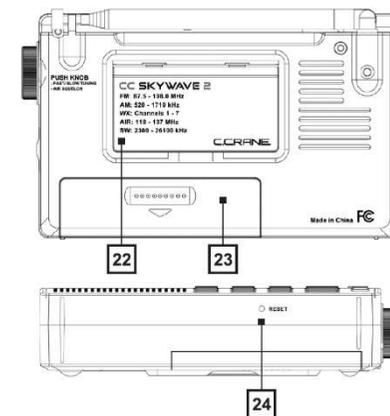
3.5mm ステレオタイプのイヤホンジャックです。プラグが接続されると、内蔵スピーカーは出力から切り離されます。

■ USB Charging ジャック ㉑

ACアダプタ（付属していません）の接続ジャックです。

■ 背面スタンド ㉒

フリップ式の背面スタンドです。デスクトップで使う場合などに適しています。



■ 電池収納部 ㉓

単3形乾電池の収納部です。マンガン乾電池、外部充電器で充電されたニッケル水素電池も使うことができます。リチウム電池は使用できません。

■ リセットスイッチ ㉔

底面の㉔は制御マイコンのリセットスイッチの孔です。リセットに使うことができます。その際にはラジオ内部を痛めないよう注意してください。

■ オールリセット

電源オフ時に [4] と [6] を同時に5秒長押しすることで、ピープ音が4回鳴った後、工場出荷時の設定とメモリー内容に戻ります。

■ 受信時の時計表示・周波数表示切替え

パワーオフ時に [4] ボタンを2秒長押しすると、受信時の時計表示（C表示）と周波数表示（F表示）が交互に切り替わります。

■ LCD 表示部

LCD表示部は、受信バンドや周波数、信号強度、その他の様々な情報を表示するために用いられています。なお、LCDのバックライトはキー操作から約15秒で消灯します。